学校番号	3001

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「造園施工必携」（日造連）「五感で楽しむ樹木図鑑」（ナツメ社）						
	「造園技術」　（文部科学省）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科の専門科目に関連した造園や環境分野の知識と技術に関する科目です。課外授業を通じて農業クラブ活動、校外実習、資格取得など、普通時の授業では実施できない学習活動や授業の補完を目的に設定されている科目で、授業形態は多様です。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
造園や環境分野に関する総合的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
校外実習や資格取得などを通じてより専門性の高い知識・技術を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
造園や環境分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造園における基本的な管理や施工についての知識、技術を身に付け、作業を合理的に計画し、その知識、技術の体系を理解し、適切に活用している。	造園における基本的な管理や施工技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	造園における基本的な管理や施工技術に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ級位検定 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習 農業クラブ級位検定	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術 造園管理の知識と技術	時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート	実習記録簿 レポート	学習状況の観察 自己評価
2学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習 校外実習	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術 造園・環境に関する校外実習	時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 時季に応じた造園施工や管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート	実習記録簿 レポート	学習状況の観察 自己評価
3学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 造園管理の知識と技術	時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート	実習記録簿 レポート	学習状況の観察 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。